

# きずな

## 思いやり 心で築く 明るい地域



豐浜地区体育祭



三世代ふれあい歩け歩け大会

ヤツホー!! 気持ちいいよー

力を合わせて 「ワツシヨイ!!!



家庭教育講演会 1月23日

学留・広報局



世代ふれあい歩け歩け大会 1月30日

つくりを目指に二つの活動を推進してきました。

一つは、クリーン作戦です。

昨年度から家推協の大切な事業として各地区での取り組み方をいっそう充実していただきました。各地区の全世帯に呼びかけ、できるだけ多くの方々にご参加いただき、園児や小学生、からお父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんまで三世代が力を合わせて取り組む一大イベントとしていただきました。

今年度のクリーン作戦もたいへんたくさんの方々に取り組んでいただきました。

自分たちの住む町を美しくしようという気持ちがぐんぐん伝わってきました。

二つめは、街頭あいさつ運動です。

学習・広報部は、「きずなの発行」、「ボスター」、絵画、習字の募集、「ほのぼの写真の募集」「家庭教育講演会の開催」を主な活動として取り組んできました。

本年度の家庭教育講演会は、愛知教育大学教授 者藤秀平先生に「街ぐるみの子育て交流」という題でお話いただきました。人が生まれ育った土地の懐の深さ—そこに暮らす人がかならず居場所を見つけられるような懐

の深さーが人を育てるのだよ、  
と教えていただきました。また、  
若い人を育てるためには、それ  
ぞれがネットワーカとしてのつ  
ながりを持つことが大切なのな  
といふことも。

豊浜地区で生まれ育った人が  
この土地に誇りを持って、この  
土地の人々の中で健やかに育つ  
ていくために、地域の方々に期  
待されるものが大きいのですね。  
講演会に合わせて開催しまし  
た「ほのぼの写真」には多くの  
方より応募があり、皆様の力強  
い応援をいただいたようを感じ  
ました。ありがとうございます。  
家推協の活動に参加すること  
で、新しい出会いがあり、豊浜  
地区の人々のきずながより強く  
なっていくのを感じています。

豊浜地区でも、毎年、歩け歩け大会が開催されていて多数の人々が参加しています。今年もこの大会に向けて、家推協ふれあい活動部員の皆さんとともに計画を立て、コース選び、係分担等を話し合ってきました。

コース選びについては、南知多はまだまだ自然が多く残り、風光明媚な所が多いので、コースの選定の時も、まず、歩いて楽しくなるような景色、感動できるような場所をいくつか歩いてみました。参加者の安全を重視して運んでいくと、今回のような、学校・津島神社・かるも保育所・NTT無線局・バイロットファーム・小佐・豊浜漁港、

地域には、その土地の習慣や伝統があります。子供たちは、そうした環境にはぐくまれて、家庭では味わえない体験をします。地域の行事に参加することにより、自分の存在が確認できたり協調性を身につけます。そんな地域の教育力を豊浜地区家推協は最大限に發揮してくれたのではないでしょうか。

教育環境部



豊浜中教頭  
蟹江利治

水木しげる



豐浜小教頭

学校のコースとなりました。

期日：平成11年11月19日（金）

場所：南知多町総合体育館

## 「子どもに語ろう」知多地区推進大会 子育てセミナー 開催される!!

公園が泣いている  
豊浜小四年 相川 晴加

クリーン作戦で、小佐公園のまわりのゴミ拾いをしました。すると、花だんの植木の下に、まだ食べてないコンビニのベニドウやおにぎり、それに飲みかけのジュース。なんってきたないんだ！この公園のまわりはゴミ箱がありません。公園には「自分のゴミは自分で持ち帰ります」と書いてある看板があります。年に一度見えたのかな？他の公園にもゴミがたくさん落ちているのかな？

これからは、自分もごみを捨てないようにして、きれいな町にしていきたいと思います。

### クリーン作戦

豊浜中一年 大岩 邦彦

クリーン作戦が十一月七日に半月地区で行われました。

僕は祖母といっしょに、ごみを拾いに行きました。祖母は草をたくさん取っていました。僕はお菓子の紙くずや金属や空き缶など拾っていました。燃えるごみを入れる袋がすぐにいっぱいになつたので、もう一枚もらつてきました。そしてたくさんごみがたまつて、もう終りの時間になりました。

これからは、自分もごみを捨てないようにして、きれいな町にしていきたいと思います。



愛知県教育委員会から表彰される

知多地区全域から100人を超える参加者を迎えて、「子どもに語ろう」知多地区推進大会が開かれました。この場で、豊浜地区家推協が愛知県教育委員会から表彰を受け、二年間の活動内容について発表しました。

また、これと並行して、知多市と武豊町が「子育てセミナー」の実践発表をしました。

家庭教育・地域ぐるみでの子育ての大切さを再認識する一日となりました。



子育てセミナーの様子



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

## 度「子どもに語ろう」知多地区



記念講演 日本福祉大学 増山 均 教授

### 我が町・我が家 クリーン作戦

きれいにします  
みんなの手で  
みんなの町を…



### 一人一人の努力で

中村 山下典男

十一月七日、中村地区でも多数の区民の参加を演ぎ、盛大にクリーン作戦が行われました。空き缶・ペットボトル等、色々なゴミが集積場で山の様になつていていたのかと思うと、とても通らない所も、いざ歩いてみると、これ程までにゴミが捨てられているのかと思うと、とても残念でした。又、区のゴミステーションに捨ててはいけない不燃ゴミ等、沢山あり規則だけは守りたいと思いました。一人一人の努力で、町をもっときれいにしていきたいものです。

### 美しい朝

中洲 川口敏乃

十月二十四日、区民一斉の道路清掃。町道から国道まで、皆さん大勢参加していました。

草にゴミ、缶にビン。小さい手に大きな手袋の子。缶とビン両手の子。ゴミ袋を広げ、親と話しかう子。「お母さん、はい」「ありがとうございます」の会話。

親子のさまざまな姿を目のあたりにし、話し合いながらの奉仕。知らず知らず親子の心のふれあいを見聞きしました。短い間に私達の住む町が、見ちがえるようにきれいになりました。嬉しい朝でした。

# ほのぼの写真特選・入選紹介

## 特選

【家族部門】「今日は家族の魚釣り大会」

山田 総一郎 高浜



【仲間部門】「コスモスといっしょに」

竹本 幸子 △方



【地域部門】「中洲地区鯛まつり」

中洲保育所



【自由部門】「うー、重い！」

豊丘小学校



## 入選

上 大 濱 伊 滝 演	遥 あ ゆ み 知 芳 と し み	豊 浜 小 5 年
岩 口 東 本 口 卓 也	里 貢 と し み	豊 浜 小 5 年
豊 浜 保 育 所	か る も 保 育 所	豊 浜 小 6 年

たくさんの方々にご応募いただき、  
ありがとうございました。  
どの写真もほのぼのとした温かみが  
伝わってくるものばかりでした。

方 田 田 田 居 村	枝 枝 巴 雄 子 子	菊 位 尚 康 ル 勝 奈 伸
乙 山 山 山 鳥 中 新	リ 原 伸 球 伸	木 伸 球 伸
齊 小 田 平 天 森 相 間	川 瀬 下	方 恵

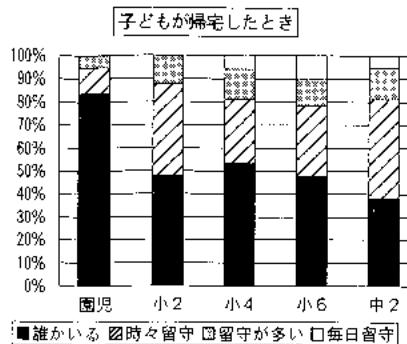


図1は、子どもが帰宅したときの家の様子です。子どもが保育園に通っているときと小学生に入学してからでは大きな差が見られます。子育てに関して少しとりができるでしょう。

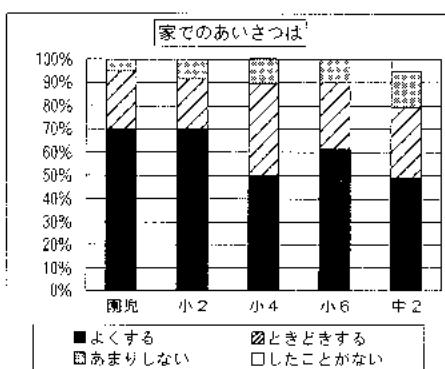
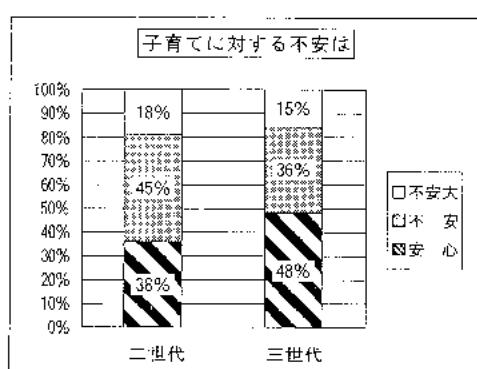


図2は、家庭でのあいさつ「おはよう」「おやすみ」などをしているかどうかの調査結果です。子どもの成長とともにこの割合が下がっています。特に小学4年生での変化が中学生になつてからの変化にできます。中学2年生での「したことがない」という5%の結果が気になります。



「子育てに対する不安は」という質問に対する回答をまとめたものが図3です。親の年代、子どもの年齢によると違ひは特に見受けられません。親が何らかの不安を抱えていましたが、二世代家族と三世代家族では図のような差がみられました。やはり、子どもを育てるということは人変なことで、多くの親が何らかの不安を抱えていました。しかし、子育ての先輩である祖父母との同居はいろいろな意味で親子関係を支援してくれます。

まだ活動し始めたから2年目で、手探り状態です。ご協力いただいたアンケート結果を尊重し、みんなで検討しながら改めていきます。これから改善していくかなければならない点も多いかと思いますが、今後ともよろしくお願ひいたします。

### 最優秀賞



豊浜小3年 大岩れい 「イルカ」

### 最優秀賞



豊浜小6年 相川裕香・4年 大也 「赤鯛・黒鯛」  
(応募16点)

### ミニコンテスト

## 楽しいつり大会

豊浜小五年 飯田紗代  
母の会会長 飯田紗代

つり大会の日は、とってもいい天気で風もおだやか。ぜつこのつり日和でした。

今年はぜつたいに入賞したいと思つていつしょうけんめいつりをしました。結果は十四センチの赤ダイが一匹でしたが、つれたときは、とつもうれしかつたです。

岸べきの近くでは小魚がたくさん泳いでいました。「大きくなったらどれかとつられるのかなあ」と思いました。また来年もつり大会に参加したいと思ひます。



ヤッター！入賞だ!! 親子釣り大会

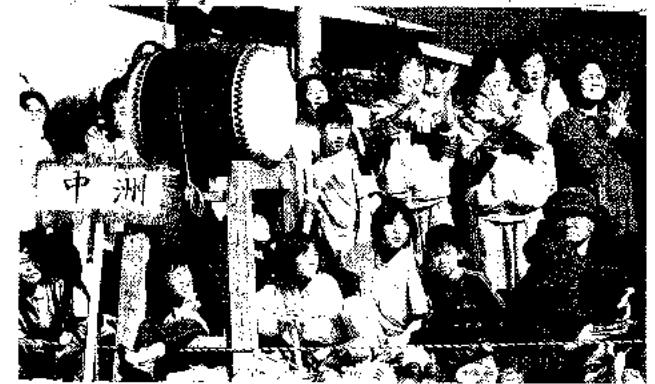


第六分団分団長 相川和英

町民体育祭は、今年は出場する立場から見守る立場になりました。

練習も選手がどんどんやる気を出し、口を出すこともなくなりました。当時は朝から落ち着いた。

選手に「がんばってこい」「こうろうさん」と声をかけるのが、今年の私の町民体育祭でした。



ガンバレー!! 町民体育祭

# ふれあい広場



火の用心、気をつけてね (中洲保育所)

## 防火パレード

中洲保育所 母の会会長 三浦香織

十月二十六日、中洲保育所幼年消防クラブは、消防署、お巡りさん方のご協力を得て、防火パレードを行いました。

まず、園庭でだんご三兄弟を演奏し、め組のパレードを踊った後、法被姿で拍子木を手に、「マッチ、本火事の元。」

と元気よく街頭へと練り出し、大きな声で何度も繰り返し、火災予防を呼び掛けました。

また、子供達が色を塗り、ひにきをつけてと書き入れたボスターを町の人々に配つて、より一層の防火啓発を行いました。

気分そっか

豊浜中二年 家田洋平

去年に続いて二回目の歩け歩け大会でした。

去年は冷たい雨の日で辛かったです。ですが、今年は天気も良く、とてもさわやかな気分で出発できました。僕らのグループは川崎君が異常に張り切り、一位になるぞと意気込んでいたので、歩いたというよりは走り通したという感じで疲れました。

距離もコース設定もバツチリで、しかも、ぜんざいもおいしくて、最後まで楽しめました。

これからも笑顔で積極的に地域行事に参加したいと思います。

## 自然とふれ合う

中洲 山下豊一

パソコン世代の子とそろばん世代の私たちが一緒になつて歩け歩け大会に参加した。自然を満喫して歩むことのすばらしさを久しぶりに味わった。

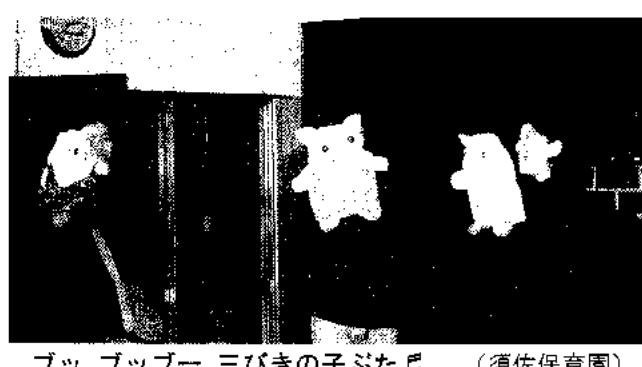
自然の恵み。寒さの中で可憐に咲くスイセンの白い花。冬の野菜。青々としたソテツ並木。山の頂上より眺める伊勢湾の広がり。いつも車の中から眺めている景色も、視点を変えゆつくりと歩むことで自然と触れ合える機会が多くなり、身近に感じられる。

親子の触れ合いも自然との触れ合いもいつまでも大事にしていきたいものである。

みんなの心がひとつになつて

豊丘小六年 竹本歩未

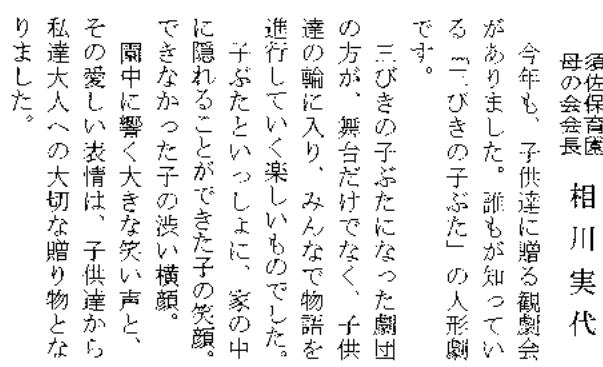
私は、午前の部最後のリレーの選手でした。「練習の成果を出しきるぞ」という気持ちで、バトンゾーンへ行きました。亞末さんが走つてくる。豊丘小は今、二位です。「ねかしてやるぞ」という気持ちで走り、足がガタガタしたけど、みんなのために、がんばつて走りました。アンカーにバトンがわたり、そしてゴル。豊丘小は、二位でした。選手の協力と応援のおかげで、あきらめずに完走できてよかったです。みんなの心がひとつになつたと思いました。



信じられない、これは夢?  
豊浜小六年 相川裕香

「信じられない」  
だつて、ミニ鯛コンテストで入賞だもん。一生懸命作ったかいがあつたと思いました。作つている時は、何となく「ただ出すだけ」と考えていました。「めんどくさい。休憩しよ」など、作る気が起きない時もありました。でも、がんばつて作ったかいがありました。

産業まつりの日「最優秀賞」のふだと赤いリボンを見た時、本当にうれしかつたです。今、二匹の鯛は、小学校の玄関でお客さんをお迎えしています。



今年も、子供達に贈る観劇会がありました。誰もが知つてゐる「三びきの子ぶた」の人形劇です。

三びきの子ぶたになつた劇团の方が、舞台だけでなく、子供達の輪に入り、みんなで物語を進行していく楽しいものでした。子ぶたといつしよに、家の中に入れることができた子の笑顔。園中に響く大きな笑い声と、その愛しい表情は、子供達から私達大人への大切な贈り物となりました。



ペッタン、ペッタン おもち早くたべたいナーニー コスモスイベント

## コスモスふれあいイベント

乙方区長 鈴木由幸

秋になると、白・紅・ピンクのコスモスの花が咲き乱れる、豊丘乙方地区のコスモス農園で、今年も小春日和のなか、コスマスふれあいイベントが開催されました。園児の親子写生会や、

乙方村づくり推進委員によるもつとき等のイベントを通して、子供からお年寄りまで楽しくふれあうことができました。きっと、みんなの心の中にも、コスマスの花に負けないくらい美しく、すてきな思い出の花がいっぱい咲いたことでしょう。

子供会のウォーキングゲーム、乙方村づくり推進委員によるもつとき等のイベントを通して、子供からお年寄りまで楽しくふれあうことができました。きっと、みんなの心の中にも、コスマスの花に負けないくらい美しい思い出の花がいっぱい咲いたことでしょう。



豊浜地区家推協  
ミニ鯛コンテスト